

## 9月定例記者会見要旨

今年是不順な夏でしたが、秋の訪れが早く感られました。秋分のお彼岸が過ぎる頃には蒸し暑い日もありましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」、運動会シーズンでもあり、秋らしい爽やかな日が続くことを願っています。とは言え、先日も関東地方で前線の影響による豪雨もあり、台風シーズンもたけなわで気の抜けない季節ともなります。「秋の空」は、変わりやすさの象徴ともなっていますが、「イベントの秋」たけなわにもなりますので、記者の皆さんにおかれましては、健康にご留意されながら、鋭意ご取材をいただきますよう尾根倍申し上げます。

龍ヶ崎でも実りの秋を迎え、早くも稲刈りは終盤に入ろうとしています。暑い7月から一転、8月の日照不足などの影響で作況が心配されていましたが、県内の作柄は「平年並み」とのことです。そろそろ龍ヶ崎産の美味しい新米が、各家庭の食卓に上がるのを楽しみにしています。

さて、国政においては臨時国会冒頭で安倍首相が衆議院を解散し、10月22日に総選挙が行われることとなりました。これに向けて当市の選挙管理委員会でも、あわただしく準備を進めているところです。急な選挙で、準備期間も短いうえに、秋の行楽シーズンと重なることから、投票率も心配しているところです。

異例の臨時国会冒頭での解散ということもあり、マスコミ等では様々な言われ方がされていますが、任期途中の解散は、政権が職を投げ打って国民に信を問うことであり、大切な選挙ということには変わりありません。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や、消費税の改正、そして喫緊の課題である北朝鮮の軍事的な脅威への対応など、これら重大案件を控え、重い一票の権利を行使していただき、国政に反映されるよう、投票率向上に努めてまいりたいと考えております。

一方市政におきましては、9月25日に平成29年第3回市議会定例会が

閉会し、平成28年度歳入歳出決算および平成29年度第2号補正予算をはじめとする議案17件および報告6件について審議・可決いただきました。

今回の定例議会においては、一般質問の中で、私の2期目の実績や、今後の市政運営を問う質問をいただき、「大きなプロジェクトの実現や、道筋をつけるなど、未来への責任をしっかりと次の世代につないでいく覚悟を持って、引き続き全力を尽くしていく」旨を答弁させていただきました。

平成29年度も、早いもので10月から後半戦となります。引き続き市民の皆様、市議会の皆様と力をあわせ、職員一同、全力で市政運営にあたってまいります。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに龍ヶ崎市商工会・コロッケクラブ龍ヶ崎主催による「第2回茨城県ご当地コロッケ横丁 in 龍ヶ崎」についての情報です。

「全国コロッケフェスティバル」の開催や「ご当地メシ決定戦2014」での日本一獲得など、今まで、龍ヶ崎市の認知度アップやまちおこしの原動力となってきた「龍ヶ崎コロッケ」ですが、今年度は特許庁の地域団体商標に登録されたことを記念し、「第2回茨城県ご当地コロッケ横丁 in 龍ヶ崎」を開催いたします。

期日は10月22日、会場は市役所北側駐車場で、コロッケクラブ龍ヶ崎の加盟店や、龍ヶ崎二高、愛国学園高校をはじめ、市内のコロッケや県内各地のご当地コロッケ21店舗のほか、当市の観光交流都市・千葉県松戸市や、「三コロ協定」によりイベント交流を行っている富山県高岡市、静岡県三島市のコロッケも特別出店として参加いたします。

また、コロッケの他にも、観光物産協会物産部会や商工会加盟店など約24のアンテナショップの出店や、各種ステージイベントも予定しているとのこと、楽しみにしているところです。

なお当日は、会場周辺となる龍ヶ崎市役所付近の道路は混雑が予想される

ことから、流通経済大学、日立建機だったKCM株式会社龍ヶ崎工場に臨時駐車場を設けるほか、市内を走るコミュニティバス全ルートの日間運賃を終日無料といたしましたので、ご来場の際には、できるだけ公共交通機関をご利用ください。ぜひ多くの皆様に「コロッケのまち龍ヶ崎」ならではの、ビッグイベントをお楽しみいただきますよう、ご来場をお待ちしています。

続きまして、2代目「まいりゅう号」出発式についての情報でございます。本市のマスコットキャラクター「まいりゅう」の図柄をラッピングした「まいりゅう号」は、市制施行60周年を記念し、平成26年3月から関東鉄道竜ヶ崎線で運行していましたが、今年9月11日で運行を終了しました。

市では運行終了にあわせ、SNS上で初代まいりゅう号の写真を投稿して感謝を伝える「#(ハッシュタグ)まいりゅう号ありがとう」キャンペーンを実施し、同キャンペーンに約50枚の写真が投稿されたところです。投稿いただいた皆様、キャンペーンの周知を行っていただいた報道機関の皆様には、この場をお借りして、御礼申し上げます。

「まいりゅう号」はデザインを一新して、再び運行することとなりますが、この「2代目まいりゅう号」の出発式を10月22日午前9時から関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅ホームで開催いたします。

2代目「まいりゅう号」には、初代同様、本市の認知度やイメージの向上、「まいりゅう」の更なる認知度向上を期待しているわけですが、今回はさらに、龍ヶ崎の未来を担う子どもたちに、まちへの愛着や誇りを深めてもらうことを目的として、市内中学校生の皆さんにラッピングデザイン用のイラストの制作をお願いいたしました。

完成したデザインは、本市が誇る伝統芸能「撞舞」や牛久沼の「白鳥」、地域団体商標に登録された「龍ヶ崎コロッケ」など、中学生が感じる本市の魅力を満載したデザインとなっています。

同日開催でもあります「第2回茨城県ご当地コロッケ横丁 in 龍ヶ崎」には、

ぜひとも、リニューアルした2代目「まいりゅう号」にご乗車いただき、ご来場いただくことを願っています。

次に10月8日（日）に行われる「市民スポーツ・レクリエーションまつり」についての情報提供です。

このイベントは、「スポーツ健幸日本一」を掲げる龍ヶ崎市が、一人でも多くの、そして幅広い年齢の市民の皆さんにスポーツ・運動に親しんでいただこうと開催している、市内最大のスポーツイベントです。

平成31年に開催される茨城国体終了後の全国障害者スポーツ大会では、本市において「スポーツ吹矢」が実施される予定ですが、本イベントでは、この「スポーツ吹矢」をはじめとして、体力・技術・性別・年齢を問わずに、誰もが楽しめる様々な「ニュースポーツ」を体験できるほか、50m走や反復横跳び、クイック腕立て伏せなどのスポーツテスト種目、弓道や剣道、新体操の体験コーナーなど、体力測定や様々な武道・競技スポーツを体験する機会も提供しています。

また、今年度は初の試みとして、障がい者スポーツへの関心を高めるため、東京2020パラリンピック競技大会で正式種目となっている「ボッチャ」や「伴走マラソン」を体験できるコーナーも設置いたします。

当日は、これらスポーツ体験のほか、流通経済大学新体操部の演技披露やウルトラクイズ、じゃんけん大会など、ご家族で楽しめるアトラクションが盛りだくさんとなっておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただくよう、ご来場をお待ちしています。

最後に龍ヶ崎市国際交流協会主催の「バックトゥースクール」のご案内です。

本イベントは、同協会主催で、昨年度初めて開催したのですが、参加者から大変好評をいただいたため、このたび、第2回を開催するものです。

「バック トゥ スクール」とは、その名のとおり、参加者が学生服などで学生に扮し、ゲーム形式の授業を受けるもので、日本人参加者には、懐かしい時間を追体験いただきながら、そして外国人参加者には、「クール=かっこいい」などと評される日本の学校生活を疑似体験いただきながら、クラスメートとして相互の交流を深めるものです。

期日は10月15日、会場は平成4年度まで馴馬小学校校舎として使用されていた市民活動センターで、まさにこのイベントに最適な環境です。ぜひ多くの皆様にご参加いただくことを願っております。

以上で、私からの情報提供を終了させていただきます。

なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。